

# 日本計量新報

計測と科学  
日本計量新報社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
E-MAIL: jpn@jpn.or.jp  
http://www.jpn.or.jp

**Yamato**  
業界初の振動除去機構を  
搭載して作業効率アップ  
デジタル式上皿自動はかり

**"UDS-1V/1VD"**



天和産業株式会社  
電話 076-814-8577

## 平成17年度近畿計量大会

### 近畿6県の計量関係者 220名が参加



#### 計量行政室矢島氏が特別講演「これからの計量について」

平成17年度近畿計量大会が11月25日午後、和歌山市のホテルグランヴィア和歌山で開かれ、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、大阪府、和歌山県の計量関係者220名が参加した。大会は午後1時に開会、主催者挨拶のあと、経済産業省、和歌山県知事、(株)日本計量振興協会から来賓祝辞があつて、このあと計量関係行政機関等から出席した来賓を紹介した。また近畿計量協会会長感謝状が和歌山県計量協会顧問である(株)日米商会の八木茂氏に贈呈された。その後は大会の主要行事に移り、4時45分からは懇親会が開かれ地元の芸能の黒潮・奴太鼓の演奏があるなか、近畿地区の計量関係者は新年会以来の旧交を温めるなど懇親を行った。

#### 主要行事は特別講演2題 熊野古道と熊野信仰など

近畿計量大会の主要行事は特別講演2題。1つは経済産業省計量行政室課長補佐矢島康徳氏の「これからの計量について」

て、もう一つは、新宮市教育委員会学芸員山本殖生氏の「世界遺産熊野詣の魅力」。



経済産業省計量行政室 矢島康徳氏

現在、計量行政審議会に計量法の改正の諮問が出されており、小委員会(ワーキンググループ)で審議が進められており、12月中には改正のための基本方向がされる。講演は計量行政室が現在の日本の計量行政の実態がどのようになっているのか、また国際整合が求められるなか、それへの対応はどうかあるべきなのかなど、計量行政の課題全般にわたった。

計量行政の職員は2年で異動することが通例になっていることから、事務の引継ぎが綿密に行われたあと、関係部署の視察、関係機関からの説明などのほかさまざまな実務の経験を通して計量行政の実態を実感として捉えることになるようである。

計量行政が機関委任事務から自治事務に変わる法改正が行われ、計量行政の主体が国から地方公共団体に移管された後であつても、計量行政の全体を知りえる最高の立場にあるのは国の担当部署

計量行政が機関委任事務から自治事務に変わる法改正が行われ、計量行政の主体が国から地方公共団体に移管された後であつても、計量行政の全体を知りえる最高の立場にあるのは国の担当部署

であることから、講演は醍醐味あふれるものであった。

計量士制度に関係しては、計量士有資格者の実在を確認する体制のないことなど不備も指摘された。計量士は計量士国家試験合格者、計量教習修了者に資格付与されている。この有資格者の名簿はなく、新たな有資格者もまた人の存在そのものがなくなつていてもそれを把握できないというのが現在の状況である。そういう状況は計量士の業務や資格制度を多様化することに不都合であることなど、行政担当者の苦悩が読み取れた。

**最新の天びん特集**

東北北海道計量大会

⑤面

#### 第3回計測標準フォーラム合同講演会



多岐にわたる内容が発表され、来場者が多数詰めかけた。

日産自動車(株)の村田恵一VPが「自動車産業における計量計測」と題した基調講演を行った。

同社は新しい計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

日本NCLSIと(独)産業技術総合研究所計量標準総合センター(NMI)が主催する「計測標準フォーラム第3回合同講演会」が11月25日(金)、東京・蒲田の大臣区産業プラザP10で開催された。計量計測に関する最新技術、国際的動向など、

同社は新しい計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術開発の実例として、走行距離試験を實際に行つた場合と同等の環境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。

また、同社の最先端計測技術の開発・生産への適用、計測機器精度の確実な保証に取り組んでいる。日本の自動車産業のお家芸ともいえる職人技を計測境が再現できるダイヤ試験機を紹介した。



熊野の自然の奥深さは南方熊楠の粘菌などの研究によって世に広められた。その熊野の高野山につづく古道が世界遺産に選ばれる。地元の人々は喜びに沸いている。公園は熊野詣の熊野古道の歴史

熊野の自然の奥深さは南方熊楠の粘菌などの研究によって世に広められた。その熊野の高野山につづく古道が世界遺産に選ばれる。地元の人々は喜びに沸いている。公園は熊野詣の熊野古道の歴史

史とその魅力を語るものである。紀伊半島は大きい。伊豆半島などの比ではない。四国の半分ほど、大げさにいえば四国が京都からそのまま突き出たような半島である。熊野古道は高野山につづくものであり、体は滅びても魂は永遠であり黄泉(よみ)の世界からいつでも蘇る(黄泉帰る)ことができるという高野山信仰がある。中世から現在にかけて高野山信仰が連綿とつづいて熊野古道が残された。高野山がつくった未知であり、未開とも思える自然のなかに人が突っ込んで行つて身体を徹底的に痛めつけることに突き抜けるものを得る自然崇拝の原始宗教が生み出したものが熊野古道である。奈良からままたいに高野山に至る小辺路、海路の後申本からの中辺路、伊勢参りの延長で至る伊勢路が主な道である。

#### 今週の主な記事

- ①面 平成17年度近畿計量大会
- ②面 チノソー社長インタビュー(2)
- ③面 最新の天びん特集(2)
- ④面 大臣表彰(2)
- ⑤面 東北北海道計量大会
- ⑥面 第2WG、全国の計量記念日行事の、ほか
- ⑦面 私の履歴書・齊藤勝夫の「計量ひとくちメモ」
- ⑧面 東京部、年末商品目立入検査を実施、ほか